

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成18年11月9日(2006.11.9)

【公表番号】特表2006-509093(P2006-509093A)

【公表日】平成18年3月16日(2006.3.16)

【年通号数】公開・登録公報2006-011

【出願番号】特願2004-559064(P2004-559064)

【国際特許分類】

C 09 J 201/00 (2006.01)

C 09 J 7/00 (2006.01)

C 09 J 133/00 (2006.01)

C 09 J 153/00 (2006.01)

C 09 J 183/04 (2006.01)

【F I】

C 09 J 201/00

C 09 J 7/00

C 09 J 133/00

C 09 J 153/00

C 09 J 183/04

【手続補正書】

【提出日】平成18年9月25日(2006.9.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

第1および第2の接着剤層の間に介在パッキング層を有さない前記第1および第2の接着剤層を含む、ディスプレイオーバーレイの裏面をディスプレイの前面に固定するための光学透明接着剤物品であって、前記物品が前記ディスプレイ上で再位置調整可能であるように第1の接着剤層が十分に低粘着性であり、前記物品が前記ディスプレイオーバーレイから伸長剥離可能であるように第2の接着剤層が十分な粘着性を有すると共に前記物品が十分な凝集強さを有する、光学透明接着剤物品。

【請求項2】

前記第1の接着剤または第2の接着剤が酸をほとんど含有しない、請求項1に記載の物品。

【請求項3】

前記第1の接着剤が水で洗浄されて少量の汚染物を前記第1の接着剤から除去し、それを粘着状態のままにしておくことができる、請求項1に記載の物品。

【請求項4】

前記第1および第2の接着剤層の間に介在パッキング層をさらに含む、請求項1に記載の物品。

【請求項5】

ディスプレイの前面に接着固定され得る裏面を有するディスプレイオーバーレイであって、前記裏面が、それに接着固定された請求項1～4のいずれかに記載の複数の光学透明接着剤物品を有する、ディスプレイオーバーレイ。

【請求項6】

請求項 1～4 のいずれかに記載の複数の光学透明接着剤物品によってディスプレイオーバーレイの裏面に接着固定された前側表示面を有するディスプレイ。

【請求項 7】

裏面を有するディスプレイオーバーレイをディスプレイの前面に取付けるための方法であって、請求項 1～4 のいずれかに記載の複数の光学透明接着剤物品を用いて前記裏面を前記前面に接着固定することを含む、方法。